

# 北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2017.10.No242

10月号

## 目次

新さっぽろアーキティサンピアザにて「建築お仕事体験2017」を開催……………	1
ブロック会報告……………	3
〔道央・道東〕	
特集 平成28年度北海道赤レンガ建築賞受賞作品……………	4
青年・女性の窓……………	6
〔No.83 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会〕	
Coffee Break……………	7
information……………	8

URL <http://www.h-ab.com/>



## 新さっぽろアーキティサンピアザにて「建築お仕事体験2017」を開催

青年委員会 委員 小林 祐 司 (札幌支部)

2017年6月17日、18日に毎年恒例となっている「建築お仕事体験」イベントが開かれました。新札幌サンピアザ光の広場で開催した本イベントは今年で5回目になり、約1350名の市民の皆様のご参加を頂きました。今年の内容はレギュラーとなっている、「ブロックで街をつくろう」、「パズルでお家を考えよう」、「折り紙建築」、「ストローでフレームをつくろう」の4つのお仕事体験と、「建築何でも相談」、「建築士会活動パネル展示」、「ライブイベント紙は人を支えられるかな?」に加え、新しく「木に触れて組み木を組んでみよう」というお仕事と、スタンブラリー記念撮影を導入しました。また今回、北海道職業能力開発大学の学生9名にボランティアで協力していただきました。

「木に触れて組み木を組んでみよう」は札幌支部青年委員会の吉田君が考案作成してくれたお仕事です。木に触れて遊ぶ楽しさを知って欲しいという思いが込められています。木材に凹凸を付け、ベニヤ板と組み合わせることで建物のように木材を組み上げていくことができます。



木材を組んで建物を作る子供たち

次に「スタンブラリー記念撮影」についてご紹介いたします。各お仕事体験をすることで、スタンプを貰い、5個集めるとお仕事コンプリート記念としてオリジナル建築士免許証の記念撮影を行い、その場で印刷してプレゼントする企画です。参加してくれた子供たちに、何か思い出として残る物をプレゼントしたいという思いから企画しましたが、子供だ



スタンブラリー記念撮影の様子

けではなく保護者の方からも好評をいただきました。

北海道職業能力開発大学校から協力してくれた9名の学生は、いずれも将来建築分野での就職を目指しています。学業の合間を縫ってイベントに協力していただき、感謝の一言です。イベント中に時間を作り、先輩建築士から業界についてのアドバイスや意見交換が出来たことも有意義でした。こういった関係を今後も大事にしていきたいと思っています。



イベント前に互いに挨拶する建築士と学生たち

末筆ではございますが、本イベントの会場を貸していただいた札幌副都心開発公社様、ご協賛いただいた東西アスファルト事業共同組合様、ならびにご後援いただいた札幌市様と、本イベントに向けて協力してくれた北海道職業能力開発大学校、青年建築士の皆様に、心より御礼申し上げます。来年もご期待ください。

## 青年委員会

# 「建築士の日」のイベント in 室蘭を開催

室蘭支部 青年部副部長  
高橋 友樹



H29年7月22日に「建築士の日」のイベントとしてここ室蘭でもスーパーアークス3階の催事場にてお仕事体験イベント、

「お仕事体験☆ちびっこ建築士になってみよう」

を開催しました。

自分が建築士会に入会して室蘭で2回目のお仕事体験イベントでした。1回目はもう3、4年前で久しぶりのイベントでした。

開催までの準備期間が短く用意がとても大変でした。また道南ブロック各支部の青年委員も繁忙期とあり当日サポート人員も少ない見込みで楽しみの反面、若干の不安もありました。

体験プログラムの内容は

- ① ブロックでおうち作って「まち」を作ろう！
- ② やねやかべのパーツを組み立て、おうちを作ってみよう！
- ③ 間取りシールを貼って住みたいお部屋を完成させよう！
- ④ 住んでみたいおうちの絵を描いてみよう！
- ⑤ マイはし作り体験となっていました。

自分で作った作品で子供通貨「チーク」をもらい、それらをお菓子などの景品と交換する形式で、まさに自分たちが設計業務などで得た報酬で買い物をするというものにとっても似ています。実際に「チーク」で買い物する子供達は皆とても楽しそうで、笑顔であふれていました。また沢山のチークをもらうために沢山のプログラムを体験する子供も居ました。

参加人数はトータル50人前後と少なく終わりましたがとても貴重で伸びしろがあるイベントだと思いました。

今回は室蘭支部を含め各支部の人員不足が事前に分かっていたので大々的な周知は行わず、口コミとスーパーアークスさんのチラシに小さく載せてもらうことにとどめていました。しかしイベントが終わってから数日後、「知らなかった！イベントあるのが分かっていたら絶対に行っていた！」と言うような声を多方面から多く頂きました。実際にイベントに参加した子供達に、「またこう言うイベントあったら来てくれるかい？」と言うと皆「絶対にまた来るね！」「次は〇〇君、〇〇ちゃんも誘ってみよう！」

と言ってくれて最初にあった不安は安心に変わりました。建築に興味をもってくれた子供もいてとても意義のあるイベントだと言うことが分かりました。また室蘭で沢山の笑顔が見られて、人口が減りゆくこの町もまだまだ捨てた物じゃないなと思いい、胸が熱くなりました。アークスさんにも「是非来月も開催して頂けませんか？」とお願いされる位で、とても手応えを感じました。

自分は室蘭で生まれ35年経ちました。町並みは大きく変わり、人口は減少傾向にも歯止めが掛からずピーク時より半分以下の9万人を切り、若者が居ない町になり、また栄えていた通りはシャッター街になってしまいました。しかし室蘭には、製鋼業、名物料理、室蘭八景など誇れる物が数多くあります。自分がその魅力に気付いたのは20歳を過ぎた辺りからでした。そしてその町で建築士になり建築士会に入会する事が出来ました。建築士会での活動等は最初、右も左も分からず戸惑いもありましたが、今では準備、打合せにも積極的に参加できるようになり建築士会での出会い、楽しさ、仕事へのモチベーション維持など自分にとってとても貴重な経験になっています。

そしてこの町で若い世代にその楽しさ素晴らしさを伝え、後にこの地に根付く建築士が少しでも増えれば嬉しく思い、また建築を通して地元を微力ながらに盛り上げて行きたいと思います。

7/22 (土曜日)

しごとたいけん  
お仕事体験☆  
けんちくし  
ちびっこ建築士に  
なってみよう

11:00~15:30 (最終受付 15:10)  
スーパーアークス中央町店 3階 催事場

体験プログラム

- ①ブロックでおうち作って『まち』を作ろう！
- ②やねやかべのパーツを組み立て、おうちを作ってみよう！
- ③間取りシールを貼って住みたいお部屋を完成させよう！
- ④住んでみたいおうちの絵を描いてみよう！

？ 建築士ってどんなお仕事をするの？  
どんな建物を建てるのか考えて、  
図面を描いたり、工事が図面通りに  
進んでいるか確認する  
お仕事をしています。

マイはし  
も作れるよ  
13:10~  
先着5名様限定

お仕事をしたら、  
『ちーく』という  
お給料がもらえるよ！  
もらった『ちーく』は、  
おかしと交換したり、  
くしが出来るよ！

主催 北海道建築士会 青年部委員会

### 魅力ある継続事業

#### 道央ブロック会

統括理事 長谷川 敏文 (札幌支部)



平成29年6月3日、平成29年第1回目の道央ブロック会会議を開催しています。9支部からの代表者に石川本部事務局長を加えた13名の参加でした。

各支部の平成29年事業計画書を基に、それぞれの支部取り組みを具体的に報告していただきました。

札幌支部：「建築士の日」の記念事業として開催する「ビールパーティー」と「白石区景観バスツアー」、本部事業の「高校生を対象とした住教育セミナー」を支部事業として継続すること。

千歳支部：市役所駐車場で開催される「スカイ・ビア&よさこい祭りにおける出店」を、支部会員相互の親睦事業として位置付け、かつ、市民に向けての建築士会活動PRも兼ねて、会員自らも楽しみながら継続していること。

恵庭支部：市内の中学生を対象とした「木工体験学習 2'x4' ベンチ」の製作を通して、地域貢献のための活動を実践していることと、恵庭市との応急判定連携協定に基づき「応急支援ネットワーク」登録促進活動を推進していること。

石狩支部：親睦事業として、会員から好評を得ている「日帰りバス視察ツアー」を今年も企画していて、先ごろ登録された「道の駅とうべつ」に引き続

き、建設中の「道の駅あいろーど厚田」から「浜益さくらんぼ園（善盛園）」、さらには増毛までの行程を組んでいること。

北広島支部：会員増強と次世代の支部会員の確保を目指せるように、限られた実働人数で関係団体の様々な事業に参加をし、また、他支部の事業にも参加する中で、支部として取組む内容と方向性を見定めていること。

小樽支部：「雪あかりの路」のイベント後援参加は恒例事業となり、また「サマーパーティー」なども、今後、企画していくこと。岩内支部：15回目となる「DIY体験会」事業において、建築士会及び建築士をアピール。古平支部：「支部総会後の懇親会」で、会員相互の更なるつながりと情報交換を充実させているとのことでした。

昨年のブロック会では、会員増強のために「魅力ある事業」を「継続的に提供」することが有効な手段であることを確認しましたが、支部事業の企画・実施において、それぞれの工夫が駆使されていることを実感できた報告内容でした。

榊後志支部長からは、9月30日に開催される「全道大会・後志大会」開催に向けた進捗状況を詳しく説明していただきました。道央ブロック会としても準備・運営を含めて強力に支援していくこと、各支部からも多数の参加者を動員し、大会を盛況に導くことを再確認して閉会しました。

### 道東ブロック会議報告

#### 道東ブロック会

統括理事 庵 敏幸 (北見支部)



6月3日に、道東各支部の支部長及び、事務局長が参集し、道東ブロック会議が札幌にて開催されました。ブロック会議の議題につきましては、①北海道建築士会会長表彰について、②新規建築士会員の増強について、③平成32年の全道大会について、④既存住宅状況調査技術者講習の実施について等、多様な議題について意見を交し合い有意義な会議でございました。

その中でも、特に新規建築士会員の増強については、各支部の皆様も会員数の増強について苦慮されているのが現状だと思われませんが、本部では建築士試験に合格された方々が、登録手続きの際、建築士会本部において、合格証書をいち早く手にできる交付式等を開催し、その折に、建築士会の説明や入会

案内を実施し、会員数の増強に励んでおります。

道東の各支部の皆様におかれましても、試験に合格した方の情報等を集め、建築士会で行っている交付式等への参加をお声がけて頂き、会員の増強にご協力して頂きたいと思っております。

また、昨年の6月に宅地建物取引業法が改正され、各支部の皆様の中には仕事柄、不動産業者と関わり合いがあると思いますが、既存住宅の売買契約締結する際に建物状況調査を実施しなければならなくなりました。調査の実施者は一定の講習を受けた建築士でなければならないので建築士である会員の皆様には積極的に講習を受講し、売主・買主が安心して既存住宅の取引ができる市場環境の整備に貢献して頂きたいと思っております。

今回のブロック会議におきましては、各支部の皆様へのお願いや協力依頼が多くなってしまいましたが、現状をお伝えし、会議を終わらせて頂きました。

平成28年度 北海道赤レンガ建築賞受賞作品

# 北菓楼札幌本館



撮影：並木博夫



撮影：並木博夫

■ **建築主** (株)ホリホールディングス  
 ■ **設計者** (株)竹中工務店 / 安藤忠雄建築研究所  
 ■ **施工者** (建築) (株)竹中工務店  
 (設備) 東洋建設工機(株)  
 (電気) 三鉱建設(株)

■ **建築物の概要**  
 所在地：北海道札幌市中央区北1条西5丁目1番地  
 構造及び階数：RC,S,SRC造4階建

建築面積：537.32㎡  
 延べ面積：1,351.38㎡  
 竣工年月日：2016年3月1日

## □企画の特徴（地域との関わりなど、特に配慮した点）

のちに昭和天皇となる摂政の宮の御下賜金により大正15年に竣工した北海道廳立（ちょうりつ）図書館は、用途を変えながら利用されてきたが、近年は市民の利用から遠ざかっていた。建物が竣工時の魅力を取り戻し、都市の活性化に寄与するための様々な方策を検討し、民間事業者のノウハウを生かすこととなった。2013年公募型プロポーザルにて北菓楼が選定され実現した。

## □設計の特徴

道庁赤レンガが庁舎や時計台と並び、北海道を代表する歴史的建造物である既存建物の「動態保存」を目指した。レンガ組積造と鉄筋コンクリート造をハイブリットした特徴的な構造体を補強しつつ、外壁と玄関ホールを建設当時の形に保存・復元を行うことで歴史を尊重した景観をつくりだした。インテリアは大正時代のレンガ造と、現代の梁が無く厚さの薄いフラットスラブを吹抜をはさんで対峙させ、新旧の技術の対比が緊張感を生む印象的なデザインとした。また全体をかるやかなヴォールト天井でおおうことで、解放感のある店舗と中空に浮き落ち着きのある喫茶空間をひとつにまとめている。喫茶の壁一面には本棚を設け、かつて図書館であったことの記憶装置とした。歴史的建造物を静的な保存ではなく同時代に活用されつづける建築として再生した。

## □施工の特徴（工法の特徴、施工上の配慮、工夫等）

外壁の屋内側はレンガ壁をインテリアとして見せるため、多くの人の目に触れるよう店舗内の吹抜とした。そのため補強は壁内部に鉄筋棒を挿入し固定する方式を採用した。外壁頂部より75φ、長さ12~15mの穴をレンガに亀裂や破損のないように慎重に削孔し鉄筋を挿入した。

レンガ壁の補強の終了後はじめて解体に着手したため、通常の数倍以上の工期を費やした。外観は陰影のある列柱が特徴だが全体を覆うタイルも手焼きで製造された高級品である。破損部分は新たに焼き直すのではなく、建物解体部分のタイルを酸洗いし再利用することで独特の風合いを損なうことなく再現している。タイル目地に関しても東京駅や赤レンガ道庁にみられる「覆輪目地」となっており、大正の職人技を伝えるものとして玄関ホールと同様にそのまま保存した。



撮影：高崎建築写真工房



撮影：並木博夫



撮影：並木博夫



撮影：高崎建築写真工房

## 審査講評

北菓楼札幌本館に面する北一条通りには多くのバス路線が集中し、毎日沢山の人がこの建築を目にしている。建築は大正15年に北海道庁立図書館として開館し、その後機能を変えつつ改修が繰り返されたが、特徴ある角の入口や縦長窓、大きな円柱などオリジナルな外部表情の大半は崩されなかった。その結果、景観上重要な近代建築として昭和63年に「さっぽろ・ふるさと文化百選」に選ばれた。近年は北海道立文書館別館として機能していたが、立地の好条件などを考えると施設の有効な活用とは言えなかった。そこで、土地建物を所有する北海道は、沿道の表情を崩さないことを条件に買受事業者を公募し事業プロポーザルコンペを行った。この建築は、近くの旧北海道庁赤レンガ庁舎などと比較して、国や学術団体からの特に高い文化財的評価を受けてはなかった。それでもあえて単なる道有地の売却事業にせず、地域財産の保全を目指したその高い見識に、まずは敬意を払いたい。

近代建築は評価がなかなか定まらないだけに、単に狭い古い脆弱だという理由で解体除去新築の運命を辿りがちだ。その中で、この建築の来歴を丁寧に紐解き特徴を掴み、課題を抽出し、周辺との関係性など全体を評価した上で今後の利活用を計った今回の事例は、様々な示唆に富んでいる。新たな事業者は、この買受条件の持つ社会的意義を理解し、初めての路面旗艦店の建設投資に「地域と共に歩む」という姿勢で臨んだその高い志にも敬意を払いたい。

買受事業者の公募時に条件として、「現庁舎について南側壁面、西側壁面を保存した上、解体し、保存した壁面を外壁として利用する建物を新築してください。(以下省略)」と明記した。文言からは、外壁だけでも保存したいという意図が垣間見えるが、逆に事業者にとっては内部の保存解体部位の選択肢を広げたといえよう。架構そのものや仕上げのみならず、この建築が持っていた特徴、例えば高窓の光が内部に深く差し込んでいたことや高い天井高などを読み替え、抽象化しながら引用踏襲した保存改修担当建築家の歴史観やデザインの力量が示された。この用途変更された建築が新たに上質な空間を持ち得たことは、著名な建築家の起用もさることながら、プログラム自体をマネジメントした実施設計施工集団に依るところが極めて大きく、この点も賞賛に値する。

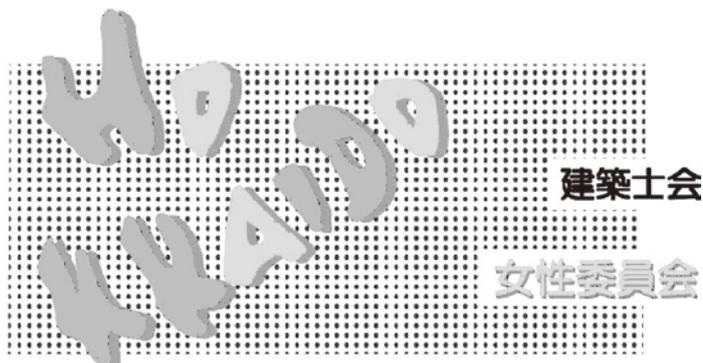
しかし一方、近代建築に対する保存活用の促進という観点から、本改修での高度な技術と大きな投資について考える時、見え隠れする課題がある。それは、案件ごとに下される建築基準法への解釈と判断が、改修の方向性と質を大きく左右する点だ。いわゆる建築基準法条文上の大規模修繕や大規模模様替への「過半の」と用途変更における「用途」の解釈と判断、これらは対象建築の立地する地域行政窓口があたることになる。その実質的な判断を下す根拠となる基準は、歴史的な建築と評価されたものと、そうではないごく一般的な建物では同列に扱うべきではなく、実態に沿った弾力的な解釈と判断は地方ごとに裁量が委ねられても良いように思える。

今回は、まず外壁を耐震補強し、次に内部を解体して新たな機能の建築を埋め込み再生した。こうして様々な幸運に恵まれて生まれ変わった旧北海道庁立図書館は、休日に閑散としていたオフィス街に新たな人の流れと動きを創出し、中心市街地の回遊性をより魅力的にした。

これらの点を踏まえ、北菓楼札幌本館は、美しい都市景観形成に寄与し地域社会の発展に大きく貢献したとして高く評価し、今年度の北海道赤レンガ建築賞を贈る。

(北海道赤レンガ建築賞審査委員長 大野 仰一)

No. 83



全国女性建築士連絡協議会に  
参加して(7月15日16日東京)  
後藤 朋恵 (札幌支部)

「あさひかわ歴史建物探検」  
～追悼 川島先生ありがとう～

小池 かつお (旭川支部)  
高見 友子 (旭川支部)

旭川支部女性委員会の見学会ではじめて川島洋一氏(東海大学名誉教授・旭川の歴史的建物の保存を考える会 会長)に講師をお願いしたのは、2000年。「古建築を巡る」と題した、先生のユーモアを交えた楽しい解説での見学会は、2004年まで5年連続で開催され、旭川市内の建物だけでなく、増毛町の歴史的建物群の見学にも行きました。旭川の「うだつ」がある建物見学や、外観のみ見学予定の建物で屋内見学ができたりと、びっくりしたり、感動したり色々な楽しいエピソードがありました。

この見学会は、しばらくお休み後、タイトルを「あさひかわ歴史建物探検」として、昨年(2016年)再開しました。見学先を毎回先生と打合せをするのですが、「君達は、建築技術者、専門職なんだから、見てためになるところじゃないか。」と考えて下さいます。今回は私たち担当者から、先生と一緒に見学できない建物をリクエストしたところ「意外と知らないんじゃないか?」と先生とのつながりも深い、国や旭川市が登録・指定している有形文化財の建物3箇所の見学会となりました。(開催日:7月1日(土))

最創山光岸寺(国の登録有形文化財)では、元住職赤松氏から道路拡幅で、お寺を曳家で移築する際の苦勞話を伺い、本堂を一周

すると様々な仕掛けがあり、探検をしているようで、先生とのダブル解説はとても楽しいものでした。



最創山光岸寺前での集合写真

上川郡農作試験所事務所棟(旭川市指定有形文化財)では、建設年を特定の際、資料でも判らずにいたところ、板の裏にあった落書きが役にたったようで、落書きの薦めがありました。

上川倉庫群(国の登録有形文化財)では、上川倉庫(株)の社屋で通常非公開の木造事務所棟2階の見学が実現、井内社長のご好意で1階事務所と大きな金庫も見せていただき、ほかの倉庫群も休館日のギャラリーを開けてもらうなど、こちらでもダブル解説で贅沢な時間となりました。



上川倉庫群見学の様子

終了後、参加者との交流会では「楽しかった!来年はどこへ行く?」と話していたのに、最後の見学会となりとても残念です。川島先生には感謝しています。先生ありがとうございました。

今年の全国女性建築士連絡協議会(全健女)は、15日の全体会で北海道建築士会から『高校住教育講座～はじめての一人暮らし～』の活動報告があり、発表者(工藤さん)の報告補助として参加致しました。行政と建築士会との連携というところに皆さん興味を持たれていたのと、工藤さんのトークと具体的に生徒作品の紹介で獨創性やユニークさを目にして会場は盛り上がりました。

基調講演では中川武氏の『和の空間を考える』という、日本の家の本来の様式美、機能性を現存する建物例から紹介する内容でした。言葉自体聞きなれない用語が多く難しく感じましたが、帰ってから中川先生の本を読むと、改めて造詣の深さと幅広さに感心し、新たな世界の入口に出会えた事で貴重な機会を得ました。

16日は新海さんが司会担当のF分科会『子どもと住環境』に参加しました。まず、東京士会女性委員会のメンバーが、杉並区の保育園の改修工事に携わるまでの経緯と仕事内容の紹介があり、とても興味深い内容でした。もともとは保護者、近隣住民、園関係者、行政の意見の間隙の解決策をクロストークすることから始まり、設計事務所登録をした一般社団法人を設立し改修工事に繋がったという、パワーと熱意を感じる報告でした。次に愛媛士会女性委員会からの「こども・けんちく学校」という子供を対象にした建築や環境を楽しく学ぶ場の紹介でした。全国で女性建築士が、それぞれの立場や地域で、出来る事を真摯に取り組み、成果を上げている様子を感じたのと、北海道からも活動報告を出来た事が誇らしい2日間でした。

## 苦小牧支部 苦小牧支部の事業活動

副支部長

石澤 智



苦小牧支部では、平成29年度もたくさんの事業が計画され、会員150名で活動し交流を図っています。1月の通常総会で新役員が就任され、新支部長の元、精力的に活動しています。5月14日に開催された第46回苦小牧市民植樹祭では建築士会メンバーと家族も含め30名程度で参加し、普段はあまり行くことのない苦小牧郊外の林の中で、スコップを手にはたすらカラマツの苗木を1時間植え続け、良い汗をかかせていただきました。建設の仕事では木を伐採することが多く、年に1度このような機会に植樹を経験することができ、良かったです。主催者あいさつでは地球温暖化問題への森林の役割などのためになるお話があり、良いことをしたなど良い気分で家路につきました。7月16日には親睦ゴルフ大会が、7月1日建築士の日に合わせての記念事業として、苦小牧市の樽前カントリークラブにて参加者32名にて開催さ

れました。天気予報では雨予報も出ていましたが、当日は雨も上がり、暑すぎず絶好のゴルフ日和となりました。普段の工作中はスーツや作業服のメンバーが、カラフルなゴルフウェアに身を包み、定刻に全員集合し、ルール説明、記念写真撮影の後、8組に分かれて順次スタートして行きました。当日初めて会うメンバーも居ましたが、プレー中に会話も弾み、和気あいあいとコースを周り、親睦を深める事が出来たと思います。プレー終了後クラブハウスのコンペルームにて昼食を取り、疲れを癒しながら、幹事の司会進行で表彰式が行われました。用田支部長の挨拶に続きドラコン、ニアピン、ベスグロ、大波、平和、飛賞の各賞が発表され、皆さん笑顔で豪華な賞品を受け取っていました。その後順位が発表され、最後に優勝者とBMの方にスピーチをして頂きました。今年の親睦ゴルフ大会は初参加の方や若い方も多く参加していただき、来年の大会に向けての目標も出来たのでは無いかと思います。7月30日には施設見学会と道路清掃奉仕作業を、むかわ町穂別地区にて参加者10名にて開

催されました。むかわ町穂別博物館と中村記念館を見学し、穂別のメイン通りを清掃しました。穂別博物館は穂別で産出される約1億年前から7,000万年前の恐竜の化石を主に展示されています。当時はこの地域は海であったのです。復元された化石を見学し、恐竜のスケール感を味わうことができました。中村記念館は、大正10年から13年にかけて穂別町開拓の先駆者、故中村平八郎氏によって建築された築80年を経過した建物を移設復元したもので、良質な材料と施工で、大正時代当時の建築様式を間近に見学できる施設です。現代建築には無い凝った細工が多く、参加者は大変勉強になったと思います。他の事業としましては、苦小牧工業高等学校建築科卒業設計の審査及び優秀作品への表彰を2月上旬に行っています。高校生が一生懸命考えて作り上げた作品なので、審査する会員も真剣です。工業高校の先生、生徒とのつながりもでき、大変有意義な事業となっています。今年度も前半が過ぎましたが、後半も魅力的事業を展開していきます。

## 中標津支部 最近活動できていませんが・・・

事務局長

佐藤 主計



寄稿依頼がきて、いざ何を書こうと思ったら、話のタネがない・・・そうだ、最近活動に参加していないんだ・・・けっして支部として活動していないわけではありません。建築士の日の記念事業ではベンチの製作・寄贈。技能祭への出店。歴史探訪企画等々、各委員会活動を例年実施参加しており、事務局作業も定期で行っています。とりあえず、建築士会活動を順に思い出していこうと思ったら、昔の事の方が鮮明だったりして、入会当時のことなど思い出してきました。

建築士会に入会し20数年、支部事務局となり、4年が経とうとしています。青年時代は、いろんなところへ連れて行ってもらい、公私ともに仲間作りの基盤は建築士会から学んだものだと思います。

先日、十勝支部の片所さんの訃報を受け初めてお会いした時のことを思い出しました。私は入会したてで片所さんを存じ上げず、「おまえモグリだな。これを呑んで、しっかり覚えて帰れ。」とウイスキー、ワイン等々何がブレンドされているのか得体の知れないドリンクを呑まされ、とんでもない団体へ入会したもんだと思ったものです。又それを飲み干せた当時の自分にも驚きます。今となっては良い思い出なのでしょう。そんな先輩達にも慣れ、だんだん染まってく活動でしたが、楽しかった記憶しか残っておりません。おかげさまで、全道大会、青年建築士の集い、ブロック協議会など欠かさず参加させていただきました。支部活動も、そこそこやれたのかなあ。

4年前青年部長をおり、しばらく建築士会活動は充電期間と思っていただいていたのですが、そうは問屋が卸してくれず、そのまま事務局長になってしまいました。事務局の仕

事はというと、本部や振興局との連携、会計事務や、一般事務と自分が想像していたより作業が多く前任者達には頭が下がる思いです。専門の事務員さんを置いている支部を見ては専門事務員いるのかな～なんて思っていましたが大所帯では必要ですよ。中標津支部60人程度でこうなのですから・・・自分が今まで楽しんできた裏には事務局の方達の苦労があったんだな～とつくづく思います。とはいうものの、ウチの事務員さん達はしっかりやってくれちゃいますので、私はラクをしています。

中標津支部は若干ではありますが青年会員が増え、活動にも協力的です。子供達が2000人ほど来場する【じどうかん祭り】というイベントも、ここ数年、全道大会と日程が重なるのですが、スタッフ配置や準備の分担等調整し、活動していただいております。これからは私たちが活動しやすい環境・体制・予算をつくってあげなければ。

## CPD認定プログラム(9月認定)

- ◆平成29年度応急危険度判定士認定講習会  
 (日程及び会場) 10月24日(火) 13:30~15:30  
 北海道自治労会館(札幌市)他15会場  
 (単位数) 2単位
- ◆「総合図作成ガイドライン」解説講習会(DVD講習)  
 (日程及び会場) 10月25日(水) 14:00~16:30  
 大五ビル2階会議室(札幌市)  
 (単位数) 3単位
- ◆「杭基礎の正しい設計・施工」の講習会  
 (日程及び会場) 11月8日(水) 13:30~16:40  
 勤労者福祉総合センター(旭川市)他5会場  
 (単位数) 3単位  
 (上記講習会問合せ先)  
 (一社)北海道建築士会 TEL 011-251-6076
- ◆女性建築士の集いINニセコ  
 (日程及び会場) 10月1日(日) 8:45~14:00  
 ニセコ中央倉庫群 他(倶知安町)  
 (単位数) 2単位  
 (問合せ先) (一社)北海道建築士会 TEL 011-251-6076
- ◆応急危険度判定机上訓練  
 (日程及び会場) 11月6日(月) 15:00~16:00  
 胆振総合振興局(室蘭市)他7会場  
 (単位数) 各1単位  
 2単位(旭川市)  
 (問合せ先) 各振興局または北海道住宅局建築指導課  
 TEL 011-204-5097
- ◆平成29年(地独)北海道立総合研究機構  
 建築研究本部 研究成果報告  
 (日程及び会場) 10月18日(水) 10:00~16:30  
 札幌サンプラザホール(札幌市)  
 (単位数) 第一部:3単位/第二部:2単位  
 (問合せ先) (地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部  
 TEL 0166-66-4218

## 道士会の動き

### 道本部の主な会議報告(9月)

- ◆第1回理事会  
 (開催日) 9月1日(金)  
 (議題) 1)平成29年一般会計収支予算の補正及び流用(案)  
 2)平成29年一般会計事業報告及び収支状況報告(7月末)  
 3)平成29年特別会計事業報告及び収支状況報告(7月末)  
 4)平成29年全国大会特別会計事業報告及び収支状況報告(7月末)  
 5)第62回建築士会全国大会(北海道大会)の大会テーマ(案)  
 6)第42回全道大会(後志大会)の決意文(案)  
 7)第43回全道大会(士別大会)の大会テーマ(案)  
 8)平成30年一般会計事業計画基本方針及び予算編成

## 編集後記

先月の全道大会(後志大会)では、情報委員会は今年も編集局を設け号外を発行いたしました。平成26年度全道大会(旭川大会)から発行して今年で4回目、各分科会の様子などを掲載いたしました。皆様はその真摯な議論や雰囲気は伝わったでしょうか。懇親会に参加された方にはお渡ししましたが、この号外は今後、北海道建築士会のHPの全道大会・開催レポートに掲載されますので、参加できなかった皆様はぜひ、HPにてご覧ください。

情報委員会 熊谷 智(苫小牧支部)

- 9)平成29年度北海道赤レンガ建築賞30周年記念事業アートコンテスト特別賞出賞
- 10)専攻建築士の登録更新審査に関する基準を定める規則(更新基準)の改正(案)
- 11)継続的な能力の開発の促進に関する規則に基づくプログラム審査評議会及び専攻建築士審査評議会評議員の委嘱(案)
- 12)(一社)北海道建築士会会計処理規程の改定(案)
- 13)(一社)北海道建築士会臨時職員雇用規則の改定(案)
- 14)平成29年会費未納者の会誌送付停止時期(案)
- 15)定款第6条に基づく会員の入会承認(案)

### ◆まちづくり委員会WEB会議-2

- (開催日) 9月2日(土)
- (議題) 1)景観まちづくり塾~まちなみ景観ウォッチング~(東西アスファルト事業協同組合の協賛事業)
- 2)全道大会(後志大会)分科会
- 3)高校生建築デザインコンクール
- 4)その他

### 関係機関等会議参加予定(10月)

- 10日(火) 建築設備士試験審査会議 高野会長出席
- 17日(火) 建設系CPD協議会運営委員会 高野会長出席

### 道本部の主な行事予定(10月)

- 28日(土) 平成29年景観まちづくり塾

### 10月開催講習会のお知らせ

- ・建築士定期講習  
 10月4日(水) 苫小牧市  
 10月18日(水) 釧路市
- ・監理技術者講習  
 10月20日(金) 札幌市
- ・応急危険度判定士認定講習会  
 10月24日(火) 札幌市
- ・「総合図作成ガイドライン」解説講習会(DVD)講習  
 10月25日(水) 札幌市
- ・「建築士による住教育出張講座」  
 北海道新十津川農業高等学校 10月5日(木)  
 北海道北見工業高等学校 10月13日(金)  
 北海道江差高等学校 10月18日(水)  
 北海道追分高等学校 10月20日(金)  
 北海道釧路工業高等学校 10月25日(水)  
 北海道野幌高等学校 10月30日(月)・31日(火)  
 北海道三笠高等学校 10月30日(月)
- 【主催:東西アスファルト事業協同組合】  
 ・防水技術セミナー2017 in北見 10月25日(水) 北見市

情報委員会委員長/早川 陽子  
 副委員長/齋藤 勝哉・高松 徹・森 勝利  
 委員/熊谷 智・柳山美保子・鈴木 雅人  
 柏倉 晶憲

### 北海道建築士 No.242号

印刷 平成29年9月/発行 平成29年10月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会  
 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地  
 大五ビル  
 電話 (011)251-6076番  
 URL http://www.h-ab.com/

印刷 株式会社 正文舎  
 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目  
 電話 (011)811-7151番